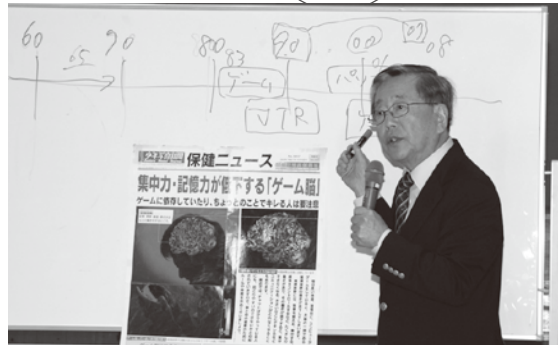




メディアと子どもの接し方を語る

11/15 男女共同参画講演会

市男女共同参画講演会（市・同連絡協議会共催）が11月15日、堀金総合体育館で開かれました。講演会では、子どもとメディア代表理事・清川輝基さんが、「テレビやゲームなど“メディア漬け”とも言われる現代の子どもには、会話をしたり外で遊んだり、もっと人と触れ合う生活が必要」などと語りました。集まった200人の参加者は、熱心に講師の話に耳を傾けていました。



アートで街づくりの可能性探る

11/29 安曇野アートライン・シンポジウム

安曇野に点在する美術館などをつくる安曇野アートライン協議会（会長・平林明人松川村長）は11月29日、「アートで街づくりはどこまで可能か」と題したシンポジウムを碓山公園研成ホールで開きました。この日は、まちの景観や環境とアートにかかわる討論が多く、参加者からは、「ダイナミックな自然景観の中でアートが負けている気さえする」、「景観としての美術館も安曇野の魅力ではないか」など、熱心な意見が交わされました。

紅葉の空に舞う

11/8～9 アルプススカイグランプリ

明科の長峰山山頂から飛び立つハンググライダーとパラグライダーの大会「アルプススカイグランプリ」が11月8日から9日にかけて行われました。

初日8日はあいにくの曇り空。気流がなかなか安定せず、ハンググライダー部門の飛び始めはお昼近くなってからでしたが、向かい風を見計らうと次々に飛び立ちました。

参加者からは、「無理をしないで、いい風が来るまで待って」など、アドバイスし合う声が聞かれました。

今年は紅葉の最盛期と重なり、参加者は艶やかに染まった山々を楽しみながら、ゆったりと飛んでいました。



全国障害者スポーツ大会で金

11/14 市長へ報告

第8回全国障害者スポーツ大会（チャレンジ！おおいた大会10月11日～13日）で好成績を収めた3選手が11月14日、市長を訪問し、その喜びを報告しました。

内川清和さん（64・豊科）は、フライングディスクで5^{きよかず}連続の的を通った回数を競う「アキュラシー競技」で銅メダルを、翌日の「ディスタンス競技」（飛距離を競う競技）で、金メダルを獲得しました。また、吉田 仁さん（18・穂高有明）が卓球競技で金メダルを、望月由梨さん（17・明科光）が女子走り幅跳びで4位、女子ソフトボール投げで金メダルを獲得しました。内川さんは「金メダルはとてもうれしい。生きがいにもなるので競技を普及していきたい」と話しました。



6万5,676点から選ばれました

11/27 明るい選挙啓発ポスターコンクール

（財）明るい選挙推進協会と都道府県選挙管理委員会連合会が行った「明るい選挙啓発ポスターコンクール」で、三郷小学校6年の赤羽由里子さんが同協会長・連合会長賞に選ばれ、11月27日に表彰されました。「小学校の部」への応募総数は約6万5千点。その中で赤羽さんの作品は、長野県審査を経て最終審査まで進み、同賞を受けた24作品の一つに選ばれました。赤羽さんは「ポスターを見た人みんなが投票に行くようになればいいな、と思って描きました。私も大人になったら投票に行きたい」と話してくれました。



そば打ち交流、これからも

11/21 東金市長から感謝状

堀金小田多井区の住民でつくる都市と農村との交流委員会（^{はやたよしかつ}隼田義勝会長）は11月21日、長年の交流がある千葉県東金市の志賀直温市長の訪問を受け、感謝状を手渡されました。同委員会は平成7年から14年間、東金市の子どもたちを対象とした「なつやま探検隊」を受け入れ、そば打ち体験を通じた交流を続けてきました。志賀市長は「そば打ち体験の後に食べるそばを楽しみにしている子どもも多い。お世話していただいた皆さんに感謝」と謝辞。隼田会長も「今後も交流を深めていきたい」と抱負を語りました。